

一般質問 (6月議会)

道路や教育福祉問題などで論議

6月11日から17日までの7日間を会期として開かれた6月定例町議会では、6議員が道路や教育、福祉問題などの一般質問を行いました。町執行部からは次のような答弁がありました。

職員の能力開発

問 ①地方行政を円滑に推進するには、職員個々の能力開発が大変重要だと思うが、人材育成のための対応は取っているのか。
②各種専門分野における職員研修の参加状況は。
③一般職員から管理職への意見具申はなされているか。

答 行政需用の高度化、多様化に的確に対応し、効率的な行政運営を推進するためには、専門分野はもとより、幅広い知識を持った意欲と実行力のある人材育成が不可欠である。このため職員の資質向上を図る観点から、職員研修を毎年実施している。特に自己啓発が大切と考え、昨年12月に自己採点表を提出させた。本年度もこれを実施いたし、どの程度の資質向上が図られているかを調査して行きたい。今後も更に、公務員としての綱紀粛正と服務規則の確保に務め、住民の信頼を損なうことのないよう務めて参りたい。②各行政分野の実務担当者を対象とした

研修は、千葉県自治専門校で行っているが、平成8年度の研修実績は5名であった。今後は、できるだけ多くの職員に受講させるよう考えており、平成9年度の研修計画では10名を予定している。③町が行う新規事業については、職員に参加意識を持たせる意味合いから、できるだけ職員からの提案を求めている。

最近では、県民の日の行事や行政改革案等について、係長以下の職員に提案させたが、特に行政改革案については、文書管理規程の見直しや組織の統廃合など、65にも及ぶ意見が出された。これらの改革案を重視しながら行政改革に取り組んで行きたいと思っている。

国保財政

問 少子化、高齢化社会の到来によって全国的に国保財政が危ぶまれているが、当町ではどのような対策を行っているのか。

答 国保財政は、国が市町村に對して支給する療養給付金と国保財政の不均衡を調整するため

に交付される調整交付金、それに町が徴収する国民健康保険税で運営している。しかしながら近年は、歳入の根幹をなす税収入に大きな伸びが望めず、加えて平成6年頃から保険給付費及び老人保健拠出金の繰り出し等が大幅に伸び、国保会計を大きく圧迫しているのが現状である。

このまま税率を据置けば、将来その率を一気に引き上げなければならぬ状況も考えられ、その場合は、被保険者に多大な負担をかけてしまうとともに、今まで以上に収納率が悪化するこ

とも予想される。そこで、今年度やむなく税率改正による国保税の引き上げを行った。今後は、保健衛生事業の推進と医療費の削減を図りながら、国保財政の健全化に努力して参りたい。

交差点拡幅

問 国道126号線の上町交差点は、朝夕の混雑が激しく、特に小学生の通学時間帯は大変危険である。児童・生徒の安全確保と渋滞緩和を図るためには、交差点拡幅が必要と考えるが。

答 小中学生の通学道路でもあ

り、現状については十分認識している。早期に整備が図られるよう関係地権者のご理解と御協力を得ながら、山武土木事務所に要望して行きたい。

町観光協会

問 ①町観光協会の活動は、年一回の総会と花火大会時の役員会だけのようだが、この状況を町長はどのように考えているか。
②一般町民に寄付を募ってまでも花火大会を開催する必要はあるのか。

答 ①平成六年までは、観光協会長を町長兼務で行っていたが、より活発な活動を図るため、現在は、町から独立した形で組織を構成している。しかしながら、新たな組織作りをして間もないため、花火大会のほかに目立った活動はまだ少ないようだが、今後、町の活性化のためにも大変重要な組織であり、私としても将来にわたってりっぱな活動ができるよう支援して行きたい。②平成2年度からふるさと創生事業の一環として実施してきた横芝町花火大会だが、「近年の不況の中で、この花火大会を続けて行く必要があるのか」などの



早期改良が望まれる上町交差点